

第28回

福岡県

美しいまちづくり

建築賞 the

作品集 28th.

2015

fukuoka

prefecture/
architectural

award

for

artistic

urban

design

ご挨拶

福岡県知事
小川洋

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、県民や事業者の皆さまの美しいまちづくりへのご理解により、毎年優れた応募作品に恵まれ、今回で28回目を迎えます。ここに深く感謝申し上げます。

本賞は、国際居住年(昭和62年)に創設した「福岡県建築住宅文化賞」を平成12年の「福岡県美しいまちづくり条例」制定に伴い、「個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる、景観の形成に寄与するとともに建築計画において優れた建築物」の建築主・設計者・施工者の方を表彰し、広く県民の皆さまに紹介することとしたものです。

今年も多数の応募があり、選考委員会による厳正な審査を経て、住宅の部・大賞「松原の家」、一般建築の部・大賞「BOATHOUSE OHORI PARK」ほか、優れた作品を選定いたしました。作品を通じて、県民の皆さまが美しいまちづくりの推進に貢献する建築物に親しみ、これから住宅や施設を建築される方の原動力となれば幸いです。

県民の皆さまが美しいまちづくりについて理解を深め、自ら進んで美しいまちづくりに参加・協力いただけるよう、平成28年2月に開催する今回の受賞作品の発表会では、設計者の方と県民の皆さまが直接、作品についての意見交換や著名な建築家の方の講演を予定しています。

そのほか、受賞作品をパネルにしたものを、県庁1階ロビーやアクロス福岡でも展示いたします。

今後も良好な居住環境の中で、一人一人の幸福実感が向上していくよう、より一層美しいまちづくりの推進に取り組んでまいります。どうか皆さまにおかれましてもさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

福岡県美しいまちづくり建築賞選考委員会
委員長
元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授
工藤卓

福岡県美しいまちづくり建築賞は、美しいまちづくりの中核となる建築物を顕彰し、選ばれた作品の建築主、設計者、施工者の3者を表彰する制度で、福岡県知事賞と(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞が授与される。本年度で第28回目を迎え、ますますこの賞の社会的意義が深まりつつある。平成21年度の第22回目からは、受賞作品発表会を開催して、大賞受賞者から作品に込めた思いが語られるなど、建築文化の広がりに弾みをつけている。

本年度の応募作品件数は、住宅の部が48件、一般建築の部が39件、総数87件であった。

審査対象作品を絞り込む第1次選考会は、10月23日に行われた。会場には、全作品を展示した。事前に応募書類閲覧を済ませた10名の選考委員が、最終確認を行った後に、部門別の投票を行い、県知事賞候補8作品、センター理事長賞候補2作品を現地審査対象に選出した。

第2次選考の現地審査は、12月13日と14日に行われ、設計過程、建築技術、景観調和、環境配慮、使用満足度などについて、建設に関わった当事者各位から解説をいただいた。

受賞作品の選出は、現地審査終了後の選考会において、部門別に、作品の趣旨と審査の評価とを照らし合わせた協議を経て、投票を繰り返して行われた。今回は、敷地環境、構造種別、空間構成、建築機能、まちなみ景観と、それぞれの作品の評価軸が異なり、受賞作品と選外作品が相拮抗する、極めて難しい選考であった。

住宅の部の大賞には、ミニマルライフを独創的な空間で楽しむ「松原の家」を、優秀賞には、まちなみ景観に配慮した木縦格子と植栽の緑が印象的な「観世音寺の家」を選定した。僅差で受賞を外した「Rock House」は、周防灘を一望する巨石園の敷地に、モダニズムの気高さを漂わせて建つ鉄骨造住宅で、設計者の構想力と依頼者の美的居住力が相際立つ作品であった。「BRUNO」は、郊外住宅地開発における既存緑地の保全設計と、コーポラティブ式集合住宅の個別設計を堅実にまとめた、社会性のある作品であった。

一般建築の部の大賞には、市民のパブリックライフに憩いと歓びを与えてくれる「BOATHOUSE OHORI PARK」を、優秀賞には、礼拝と社会福祉の場を木造木質一色で空間化した「軒の教会―東八幡キリスト教会―」を選定した。選外佳作となった「kitchenhouse fukuoka showroom」は、キッチンショールームをモダンな建築美術に昇華させた建築技術の粋を感じる、見応えのある作品であった。同じく選外佳作の「森のおうち保育園」は、木造木質の空間が保育児童を包み込んでいて、シュタイナー教育の空間化を模索した、建築主、設計者、施工者の熱意が伝わってくる作品であった。

センター理事長賞候補2作品の現地審査と最終選考は、選考委員2名とセンター役員1名により、11月20日に実施した。理事長賞に選定した「本城中央団地住戸改修事業」は、入居者の目線に立った更新デザインを先導する設計組織の確立に先取性が見られる作品であった。『古民家デイサービス「みんなの時間」』は、古民家が蓄積してきた時間と空間に敬意を表すかのような改造・改修の技術が巧みに活かされていて、利用者の笑顔が見られた作品であった。

大賞

住宅の部
松原の家
所在地：福岡市南区

02 | 03



撮影：Techni Staff

設計者 SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd. 谷尻誠、吉田愛
〒730-0843
広島県広島市中区舟入本町15-1 725ビル
TEL 082-961-3000 / FAX 082-961-3001
URL <http://www.suppose.jp/>

建築主 個人
施工者 株式会社若杉建設 専務取締役 若杉啓文
用途 一戸建ての住宅
構造規模 鉄骨造一部RC造 2階建て

設計趣旨

敷地は福岡市の貯水池に面した傾斜地にあり、家族4人のための生活の場をつくる計画である。

われわれは時間の過ごし方において多くの場合、「何もしない」ことよりも「すること」を優先してしまうが、このプロジェクトでは「なにもしない」時間を日常の中で所有してもらいたいと考えた。

ただ1枚のシンプルな屋根を敷地に沿って架けて景色の大部分を遮蔽し、目の前に切り取られる景色の豊かさを顕在化させる提案とした。

傾斜する敷地に鑿まれた空間を屋根によって特徴付け、風景がもつ機能を生活の場と結びつける計画である。

あるところでは原っぱの中の小屋に籠るような静かな空間が、あるところでは水辺のベンチに腰をかけた時間の流れを感じるおらかな空間が、ここでは展開される。

講評

シンプルなミニマルライフが、ひな壇状の斜行空間でいさぎよく展開されている。モノと空間と自然が、アートのように関わり合う、日本の伝統的な「わび・さび」に通じる文化を思い起こす。

貯水池の葦原傾斜地にへばりついたこの家は、水辺と対峙した鋭い建築形態で、周囲から際立っている。構造デザインの粋を感じる極細の鉄柱に支えられた斜行空間は、間仕切りが少なく、大らかな広がりを見せている。細隙状の水平ピクチャーウィンドウは、池水面を風景画の額縁のように切り取っている。斜行ピクチャーウィンドウからは、間近の自然が目に飛び込んできて、にぎにぎしい。

審査見学中に降り始めた雨粒が、池水面に小さな波紋を広げ始めた瞬間を、このピクチャーウィンドウから目撃した。貯水池の自然観賞を促すこの住宅の視覚構造が、周到的仕掛けて造られていることが納得される。屋根を滑り落ちる横一直の雨だれの風情を愛でる面白みを、オーナーから教えていただいたのも印象的だ。

この家は、モノにあふれた現代の住環境の見直しを考えるうえで、貴重な示唆に富む。大量消費型のモノに縛られる生活が変わって、最小限の良品を選択して、自然の景色と一体となって棲むという、あたらしい世代の住宅文化の始まりに気づかされる。



撮影：Techni Staff

大賞

一般建築の部

BOATHOUSE OHORI PARK

所在地：福岡市中央区

04 | 05



撮影：Kouji Okamoto



撮影：Kouji Okamoto



撮影：Kouji Okamoto

設計者

株式会社竹中工務店 九州支店設計部 専門役 木村康彦

〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目2-20 TEL 092-733-9350 / FAX 092-781-5276 URL <http://www.takenaka.co.jp/>

株式会社生活スタイル研究所 代表取締役社長 本田泰

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-20-10 B棟 TEL 03-5785-1498 / FAX 03-5785-1499 URL <http://www.lifestyle-ins.com/>

建築主

ロイヤルホールディングス株式会社 代表取締役社長 菊地唯夫

施工者

株式会社竹中工務店 九州支店 支店長 吉田寛史

用途

飲食店舗

構造規模

鉄骨造2階建て

設計趣旨

公園の中の飲食施設の建替えである。福岡市中心にある市民憩いの場「大濠公園」の水辺の一角がその敷地である。アジアからの来訪者も多い。建築の再生にあたり、自然と共存し水景を楽しむ施設となることを目指した。

豊かな自然を背景に、既存の樹木を残しながら一本の水平線(庇)を水辺に添えた。東西に長い庇の上下に人々が集う場が生まれ、新たな水辺の風景が創出された。

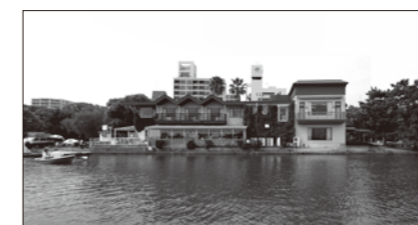
石や木の素材を細かく刻んだディテールを用いたり、植栽群を新たに加えたり、時間の経過とともに建築が自然に馴染んでいくことを意図し、永く永く親しまれる施設となるようつくりこんだ。

講評

大濠の水辺に眺めるボートハウスが、絵画の焦点のように目を引く。昭和30年代に造られた水辺リゾート施設の老朽化に伴って、福岡県が建て替え公募選定した建築である。建て替え前は、蔭が絡まる木造コテージ風のカフェレストランとして市民に親しまれ、大濠公園での憩いと出会いの空間を提供していた。大濠公園は、福岡城の外堀跡としてその歴史的風致が貴重であり、現在は国の名勝に指定されている。新装されたこのボートハウスは、水辺の広がりやを強調する水平な軒庇、大濠の空の広がりやを捕らえた大開口のガラス窓などが、デザインされている。建物廻りに記念樹のように残された、クス、マツ、シユロの3老樹は、市民に親しまれつつ解体された旧ボートハウスへの敬愛の印にも映る。

カフェやショップは、散策や会食を楽しむ市民に開放されて、楽しげである。階上ダイニングの1室には、1954年にマリリン・モンローとジョー・ディマジオが、レストラン「花の木」で食事を楽しんだ家具内装が復元されている。こうした古く懐かしい時代の逸話を膨らませてくれる都市界隈の物語性からも、この建築の魅力がうかがえる。

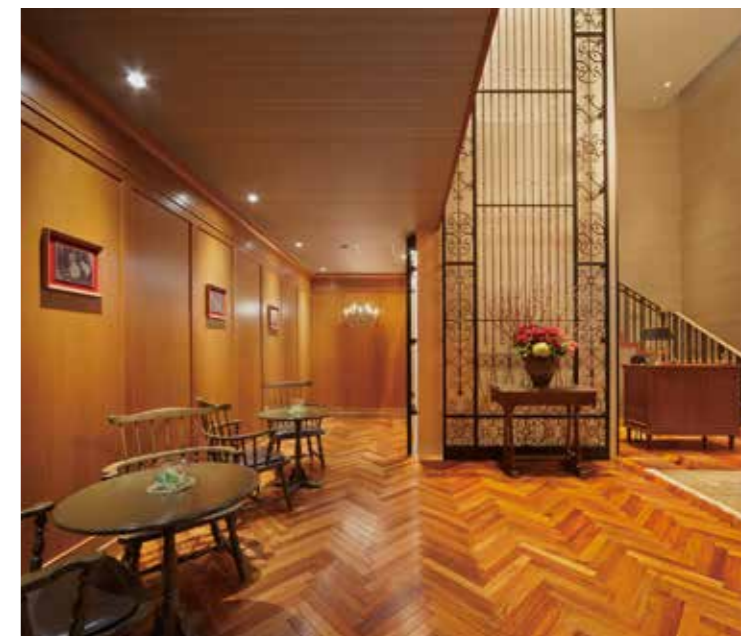
大濠の歴史とともに、旧ボートハウスに刻まれた市民の思い出を引き継ぐ、この現代版水辺リゾート施設の賑わいは、都市のパブリックライフを高揚する優れた文化的景観の証に他ならない。



※資料写真



撮影：Kouji Okamoto



撮影：Kouji Okamoto

優秀賞

住宅の部
観世音寺の家
所在地：太宰府市

設計者 株式会社山田デザイン研究室 代表取締役 山田浩史
〒815-0075
福岡市南区長丘2丁目8-14
TEL 092-553-6836 / FAX 092-553-6840
URL <http://www.yamadain.com/>
建築主 個人
施工者 有限会社筑羽工務店 代表取締役 秦福美
用途 一戸建ての住宅
構造規模 木造2階建て



撮影：石井紀久

敷地は太宰府市観世音寺の近く、閑静な住宅地の一角である。

クライアントからは緑豊かな環境での暮らし、ライブラリー、家族が仲良く集えて気配が感じられるような家、光や風をほどよく感じたり自然を身近に感じたい。などの要望があった。

計画にあたっては1階と2階を分断しないこと、街並みに対して軒高さを低く抑えることを設計の軸とし、道路より高い地盤面を利用してスキップフロアで上下階を緩やかにつないだ。

また、建物全体に1枚の折り曲げられた屋根をかけることで軒高を低く抑え、流動的でのびやかな内部空間を目指した。

太宰府・観世音寺という歴史ある場所にふさわしい意匠を模索し、木製堅格子の和の表現を採用した。

講評

歴史を感じさせる木縦格子と玄関前の緑の植栽が、旧来のまちなみに新たな景色を創っている。太宰府市の遺跡共生区域の景観モデル住宅として、見守り続けたい作品である。

平成22年に施行された「太宰府市景観まちづくり計画/景観計画」には、「自然と文化遺産を生かして、景観を守り、創り、育てていく」という理念が、色彩や緑化の基準とともに記されている。この住宅では、こうした市民が協賛するまちづくりの理念を、建て主、設計者、施工者の3者の創造的な協働によって、いち早く体現して見せている。

建て主が要望したもろもろの空間機能は、設計者の立体的な空間構想と、施工者の経験豊かな手作業の技によって、見事に造り込まれている。壁面の要所には絵が飾られ、ライブラリーには書籍が並ぶ。窓からは、木々や月も楽しめる。こうした家族の生活感覚に寄り添う建築の佇まいからは、歴史的風致に優れた太宰府のまちに住む喜びが伝わってくる。

さらに、駐車場の景観問題にも提案が見られる。建物をセットバックしてその前面に植栽を欠いた駐車場を設けるのではなく、駐車空間を主体建築に組み込むことによって、まちなみ景観を創り育てていくという、市民感覚の目標が達成されている。

優秀賞

一般建築の部
軒の教会 一東八幡キリスト教会一
所在地：北九州市八幡東区

設計者 株式会社手塚建築研究所
代表取締役 手塚貴晴・手塚由比
〒158-0082 東京都世田谷区等々力1-19-9-3F
TEL 03-3703-7056 / FAX 03-3703-7038
URL <http://www.tezuka-arch.com/>
建築主 日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会 牧師 奥田知志
施工者 株式会社東建設 代表取締役 東邦夫
用途 教会
構造規模 木造2階建て



撮影：Katsuhisa Kida / FOTOTECA

設計趣旨

「他者のための教会」を使命とする東八幡キリスト教会の新会堂。礼拝堂を中心として深い軒を四周に備えた。玄関扉を開け放せば、外部と内部の区別が無くなり、玄関から礼拝堂までの20m以上にわたる大軒があらゆる人々を受け入れる。礼拝堂は正方形平面をしており、天井の四辺には天窓が切れ、射し込む光が厚い杉板下見板張りの壁に独特の縞模様を描き出す。バプテストリー(洗礼槽)は低みにあるヨルダン川に因み、床面に切れ、この会堂で最も低い場所となった。軒の下には困窮状態にある人々のためのシェルターや、引き取り手の無い遺骨も納骨する記念室を備え、まさに「他者のための教会」となった。

講評

この教会堂建設に携わった人々の建設物語が、既に、「美しいまちづくり建築」に値する。教会側と設計側は、人々が立ち寄れる「軒下空間」を主題にして、この教会堂の設計構想を詰めたという。実現した「軒の教会」は、木造木質一色で造られ、人間尺度の空間が主題を体現して心地よい。

南と北の道路に挟まれた敷地に、彫子下見板壁のツインボックスが建ち上がっている。その周囲に、軒下空間が都市の街路のように取り付いている。礼拝堂の高い天井四周から差込む日の光は、杉板一面の内壁に陰影を刻んでいる。礼拝堂と多目的ホールを介している軒下空間は、都市の狭小街路で人々が出合い屯する親密な光景を思い起こす。

この教会は、こうした都市街路で繰り広げられるドラマを、この木造木質の空間構造に内包することによって、教会員の礼拝と社会活動を機能させているように見える。建て替え前から地域の人々とながら困窮者支援の奉仕活動も、軒下空間で受け入れている。

竣工以降、この教会では、いくつもの人間ドラマが生まれているという。まだ木の香りが残る新しい建築であっても、どこか懐かしさがあるともいう。この教会建築の素晴らしさは、こうした教会活動の物語を融通無碍に育む木造木質空間の創造にある。

選外佳作作品

08 09

住宅の部

Rock House

所在地 北九州市小倉南区

設計者 白浜誠建築設計事務所

代表 白浜誠

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前3-7-2 第五大鉄ビル4F



住宅の部

BRUNO

所在地 福岡市早良区

設計者 リーメック株式会社

取締役設計部長 山下豪

〒810-0022

福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院6F



撮影：イクマ サトン (Techni Staff)



一般建築の部

森のおうち保育園

所在地 福岡市中央区

設計者 株式会社環・設計工房

取締役 杉本泰志

〒815-0033

福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル208



撮影：イクマ サトン (Techni Staff)



一般建築の部

kitchenhouse fukuoka showroom

所在地 福岡市博多区

設計者 有限会社窪田建築アトリエ

代表取締役 窪田勝文

〒740-0017

山口県岩国市今津町1-8-24



撮影：Hiroshi Ueda



撮影：Kenichi Suzuki

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、
福岡県庁ホームページからご覧いただけます。

一般財団法人福岡県建築住宅センター

理事長賞

選考テーマ：住宅のリフォーム・リノベーション

福岡県住宅供給公社 本城中央団地住戸改修事業

所在地：北九州市八幡西区

設計趣旨

1980年代に建設されたこの団地は建物の老朽化や画一された間取りで現代ニーズに対応出来ず、また人口の減少や地域治安の不安が空室増大に拍車をかけていた。このリノベーションプランはリーシングの現場から消費者の要望を吸い上げ「設計→施工→斡旋」ではなく「斡旋→設計→施工→斡旋」という手法を軸に組み立てている。団地特有の画一された間取りは廊下が狭く、玄関が「暗い」印象があった。またトイレへのアクセスにも問題があった。この2点を改善する為に従来の団地間取りに無い玄関ホールを設け、同時に入居者の個性が出せる土間空間を創った。多様な生活空間を入居者が生み出すことで今後の団地再生の汎用性を狙っている。

講評

入居者の個性的なライフスタイルに応えるこの団地改修事業は、現代の少子高齢社会で射た社会性がある。高度成長期に画一的に造られた団地住戸の間取りを一旦解体したうえで、内装と設備の更新を、納得できる予算枠で実現している。

なかでも、スケルトン・インフィル方式による土間の設定は、入居者に趣味の空間造りを委ねる日曜大工の好機を提供している。総ての内装を完全に整えるのではなく、自分好みに小規模な変更を許容する余白を残す手法である。台所設備も、あえて半露出型に工夫することで、更新コストを抑えている。こうした改修手法は、内装の創造性にあふれる入居者層を引きつける魅力に富んでいて、玄関、リビング、寝室にも適用されている。

入居者がいかに創造性に着目したこの余白を残す改修事業の企画には、入居斡旋の専門家が参加している。従来の枠組みを超えて、発注者、入居斡旋者、設計者、施工者の4者の専門家が、この改修事業のための設計共同体を組織している。入居者目線に立った新しい住まい方を提案する絶好の機会と捉えた、新規発想の組織である。現状考察・設計・施工・入居斡旋を一括するこうした設計組織の結成が、この団地改修事業を成功させた大きな要因であることは間違いない。

設計者

株式会社タムタムデザイン一級建築士事務所

代表取締役 田村晟一郎

〒802-0002 北九州市小倉北区京町1丁目4-11-3F

TEL 093-967-3115 / FAX 093-330-4400

URL <http://www.tamtamdesign.net/>

建築主

福岡県住宅供給公社 理事長 小路芳晴

施工者

株式会社不動産プラザ 代表取締役 福谷広志

用途

賃貸マンション



撮影：camekiti



撮影：camekiti



撮影：camekiti



リノベーション前

理事長賞選外佳作作品

古民家サービス「みんなの時間」
 所在地 久留米市
 設計者 kt 一級建築士事務所 神戸山手大学
 山隈直人
 〒530-0043
 大阪府大阪市北区天満2-8-18
 TC天満ビル3F



一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞
 建築賞応募作品のうち、既存住宅をリフォーム・リノ
 ベーションしたもので、美しいまちづくりに寄与
 する建築物(リフォーム・リノベーション後の用途は
 問いません)を、「大賞」「優秀賞」受賞作品を除いた
 ものから選考委員会が推薦し、一財：福岡県建築
 住宅センター理事長が決定しました。

一般財団法人 福岡県建築住宅センター

www.fkjc.or.jp/
 ●お問い合わせ先 / 092 781 5169

建築住宅センターの住まいづくりサポート

●住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による
 法律相談

●住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

●住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

●生涯あんしん住宅

在宅ケア対応モデル住宅の展示

一般財団法人福岡県建築住宅センターは
 福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の
 高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建
 築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として
 1978年(昭和53年)に設立されました。

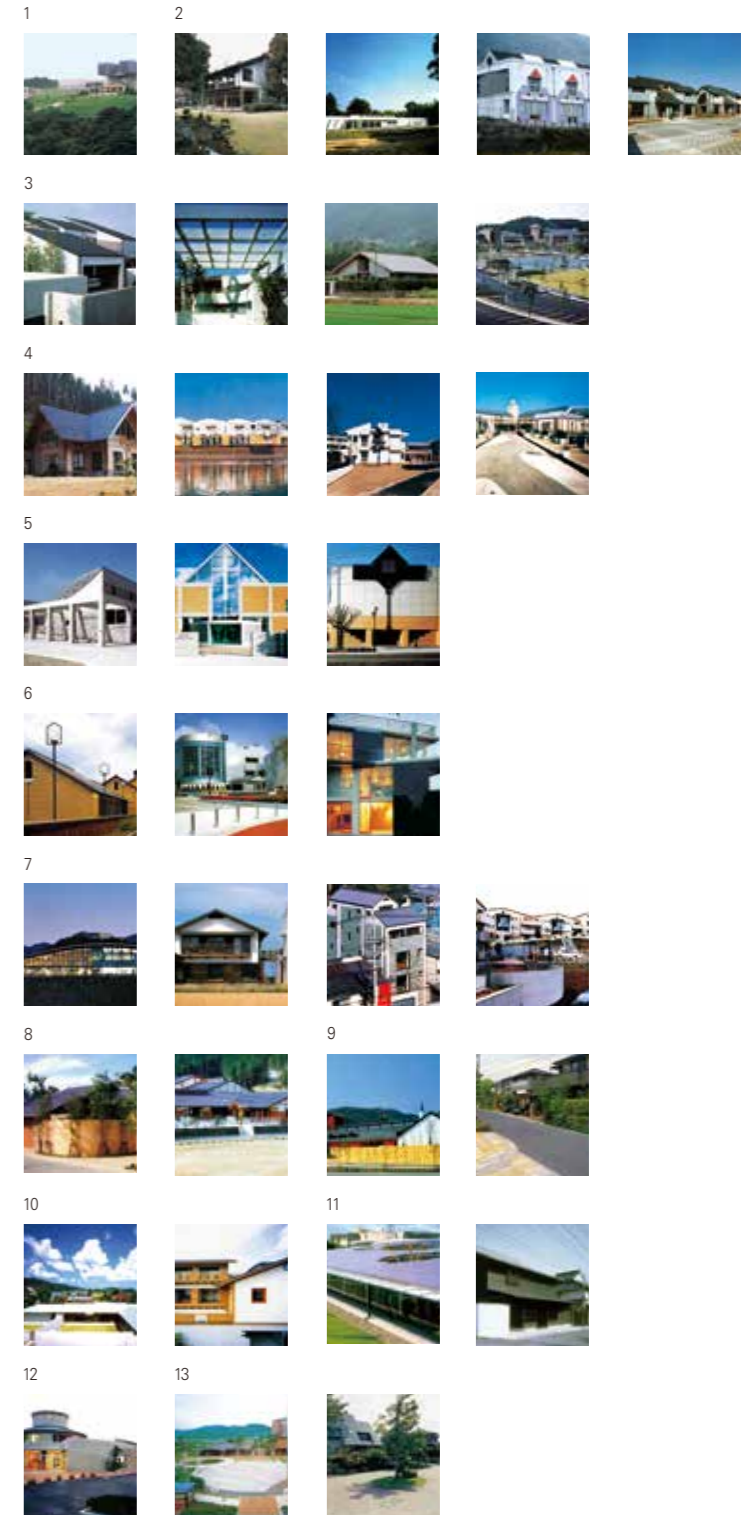
また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度
 改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタート
 いたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応
 しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、
 住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての
 業務等を通して消費者の保護を図るとともに、
 モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅
 フェアの開催等を通して、的確な住情報の提供を
 行っています。また、工務店等の技術者に対する
 研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、
 併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、
 並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関
 及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確
 認・検査、構造審査業務及び、国の登録住宅性能
 評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞、]大賞受賞作品

- 第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度 北九州市立美術館
- 第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度 石橋別邸第一水明荘、福岡医院、
花園幼稚園、ピレッジ香月
- 第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度 松口邸、的野歯科医院、
立花山の家、グリーンピア八女
- 第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度 進藤邸、不知火病院"海の病棟"、
山田市立山田小学校、
福岡ウォーターフロントプロムナード"マリゾン"
- 第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度 刈田町立図書館、明治学園高等学校体育館、
カルタックスおおむた
- 第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度 田川文化エリア、福岡県青少年科学館、
佐田邸(4世代の家)
- 第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度 茶の文化館、二丈町の家、山笠の家(橋本邸)、
西大谷第2団地(市営住宅)
- 第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度 縄田邸、上陽町立尾久保小学校
- 第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度 碓井琴平文化館、新宮湊坂
- 第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度 鞍手の家、太宰府長浦台の家
- 第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度 瀬高町立図書館・歴史資料館、
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)
- 第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度 山田市立下山田小学校
- 第13回福岡県美しいまちづくり賞
平成12年度 めくばーる三輪、青葉台ほんえるふ

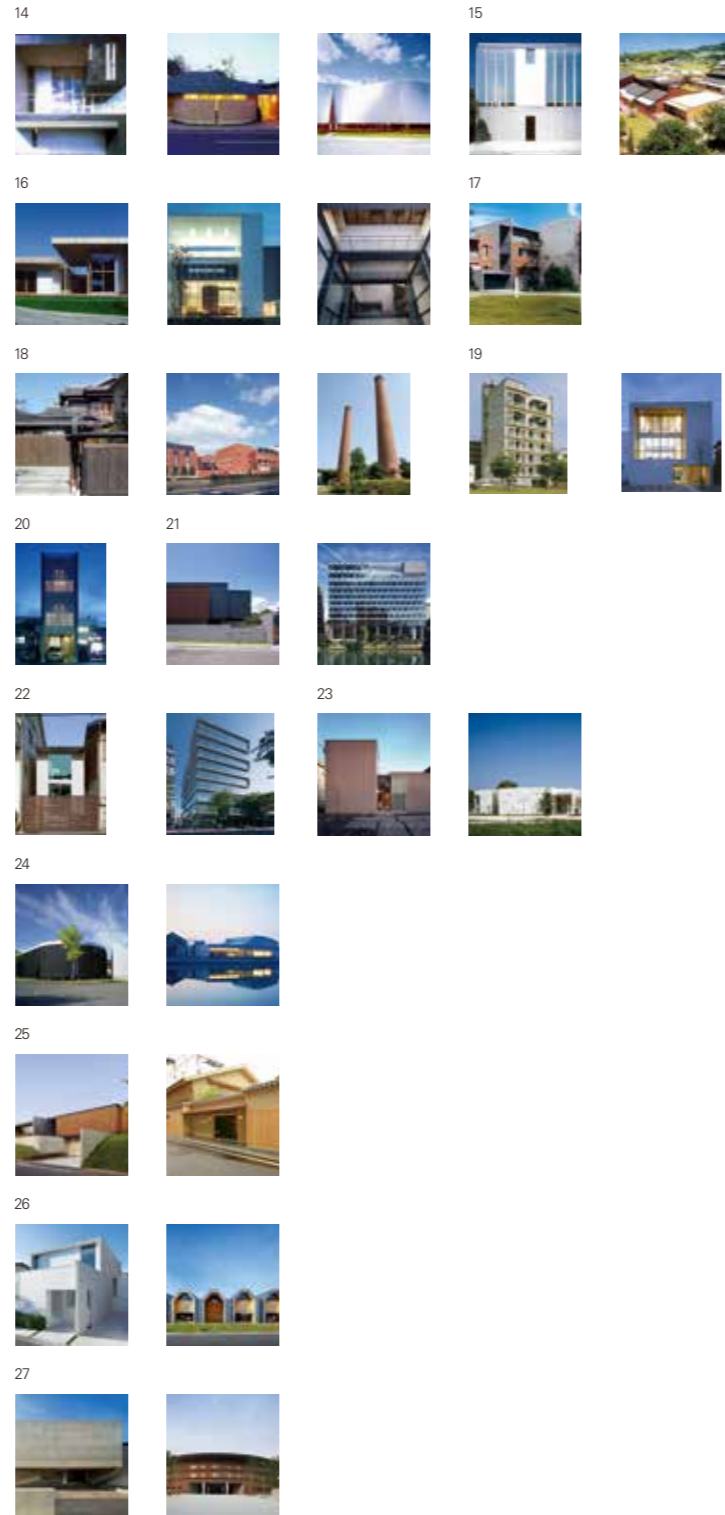


これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞]大賞受賞作品

12 | 13

- 第14回福岡県美しいまちづくり賞
平成13年度 大野城の住宅、ひふ科いのクリニック、
八女市多世代交流館「共生の森」
- 第15回福岡県美しいまちづくり賞
平成14年度 City Cube、篠栗幼稚園
- 第16回福岡県美しいまちづくり賞
平成15年度 SHIMA STYLE、渡辺クリニック姪浜、247
- 第17回福岡県美しいまちづくり賞
平成16年度 カルシア小戸ナチュア
- 第18回福岡県美しいまちづくり賞
平成17年度 昭和初期和風住宅の移築プロジェクト、
西南学院中学校・高等学校、
伊田堅抗橋二本煙突〈景観賞〉
- 第19回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成18年度 TERZETTO(テルツェット)、中村製紙所新社屋
- 第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成19年度 須崎の長屋
- 第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成20年度 東神原の家、アクア博多
- 第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成21年度 ベットと暮らす家[K邸減築工事]、天神MENTビル
- 第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成22年度 豊前の家、下川歯科医院
- 第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成23年度 むさしヶ丘の住宅、築上町火葬場
- 第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成24年度 四季の家、料亭 嵯峨野
- 第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成25年度 Obi house、筑紫保育園 分園
- 第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成26年度 大池の住宅、椎木講堂



28th.

2015

作品発表会
2016年2月26日[金]
西鉄グランドホテル

表彰式
2016年5月21日[土]
アクロス福岡

第28回

福岡県

美しいまちづくり

建築賞 the

作品集 28th.

2015

fukuoka

prefecture/

architectural

award

for

artistic

urban

design

賞の部門

- 住宅の部
 - ・一戸建ての専用住宅。ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
 - ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。ただし、複合用途で住宅の部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- 一般建築の部
 - ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

表彰の趣旨

今回で28回を迎えた福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与いたします。

選考委員会

大森今日子 / 写真家
大森洋子 / 久留米工業大学建築・設備工学科教授 ○
岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授
菊竹清文 / 情報彫刻家
菊地成朋 / 九州大学大学院人間環境学研究院教授
北里晋 / 西日本新聞社編集局文化部長
工藤卓 / 元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授 ◎
田辺清喜 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター副理事長
田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授
中尾良教 / 福岡県建築都市部次長
50音順、敬称略、◎委員長、○副委員長

主催 / 福岡県

福岡県建築都市部住宅計画課内
福岡県美しいまちづくり建築賞事務局
福岡県庁ホームページ 美しいまちづくり建築賞
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenchikusyo.html>
お問い合わせ電話番号 / 092 643 3733

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター
後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店
独法：都市再生機構九州支社
福岡県住宅供給公社
公社：福岡県建築士会
一社：福岡県建築士事務所協会
一社：福岡県建設業協会
公社：福岡県宅地建物取引業協会
一社：九州住宅建設産業協会
公社：日本建築家協会九州支部
一社：日本建築学会九州支部
公社：日本都市計画学会九州支部
特非：日本都市計画家協会福岡支部
福岡県ゆとりある住まいづくり協議会